

## グラリネットについて

船橋市アマチュア無線クラブ

「グラリネット」とは、自宅或は外出先である程度 体を感じるに地震（震度3以上程度か）に遭遇した際、メンバーが自主的に電波を出して確認及び普段からの非常時の経験を積むシステムです。

目的は

- ① 災害状況の把握と報告。
- ② 自局が地震による被害を受けていない事を証明する。
- ③ 大地震の場合（震度5強以上）災害対策本部の設置の有無。  
市に連絡会の協力が必要かの情報を把握。その後の対応の自覚。
- ④ 自局のトランシーバの動作確認。
- ⑤ メンバーのコミュニケーション。
- ⑥ 非常通信連絡会 会員としての意識の向上。

方法は

- ① 地震を感じた場合、430MHzのクラブ常用周波数で「CQ グラリネット」を発信する。（周波数チェックは、必須です。）
- ② オンエア・ミーティングと異なり、特定のMCは定めない。
- ③ その時点での参加局の構成でMCに相応しい局がMCを務める。
- ④ 報道などで震源地、マグニチュード、震源地震度、船橋市震度など確認して広報する。
- ⑤ 各局の被害状況を確認する。
- ⑥ 異常が無ければ、早めに切り上げる。

処理

- ① MCは幹事宛、日時、震源地、参加局を報告する。OAM担当幹事が取りまとめる。

普段のオンエア・ミーティングとは違った意味でお互いの意思疎通を図る事が可能になり、非常通信の訓練にもなると考えられます。

クラブ員は地震に気が付いたら「グラリネット」に参加し災害を意識した通信をしましょう。

以上